

「第16回コンプライアンス委員会」議事要旨

- 1 日 時 令和5年3月9日 10:00～11:26
- 2 場 所 機構南館1階会議室
- 3 出席者 庄司委員長、瀬島委員長代理、北井委員（外部有識者）、本田委員、菅宮委員、藤野委員、上大田委員、森田委員、守山監事、矢島監事、事務局

(計12名)

4 議 事

(1) 令和4年度コンプライアンス推進計画の進捗について

令和4年度コンプライアンス推進計画に基づく取組について、計画のとおり実施した旨、事務局から報告があった。

また、北井委員から「業務指導とパワーハラスメント」をテーマに情報提供があり、パワハラにならない指導のポイント、また、パワハラの原因や背景となる要因を解消するため機構として行うことが望ましい取組として、風通しの良い職場環境を築き、コミュニケーションの活性化を図ること、労働者が感情をコントロールする能力やコミュニケーションを円滑に進める能力の向上を図ること、労働者に過度に肉体的・精神的負担を強いる職場環境や組織風土を改善すること等の助言があった。

これを受け、機構として引き続きハラスメントの防止に関する研修の実施を含めコンプライアンスを推進していくことを確認した。

(2) 令和5年度コンプライアンス推進計画（案）について

コンプライアンス推進会議（令和5年2月16日開催）における部室等からの意見等を反映させた令和5年度コンプライアンス推進計画（案）について審議の結果、案のとおり了承された。

(3) その他

事務局から、他の法人等におけるコンプライアンス推進を妨げる行為の事例について紹介した。